

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	森林管理促進事業			事業番号	23-105
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	大町 徹	農業振興課農林整備担当	佐野 直希	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち	
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり	
		施策展開の方向	10	地域の産業が盛んなまちをつくる	
		施策	23	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	
予算事業名	林業基盤整備事業費 森林管理事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→			法令上の位置づけ	できる規定がある
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—
関連法令等	森林法、県補助金交付要綱(水源の森林づくり協力協約事業、水源環境保全・再生市町村補助金事業)				
国・県の計画等	かながわ森林再生50年構想、神奈川地域森林計画			計画期間	平成23年度～
関連個別計画	伊勢原市森林整備計画、第4期水源環境保全・再生市町村5か年計画			計画期間	平成23年度～
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	水源の森林エリア内の高齢級の間伐、枝打ちなど、森林の適正な整備及び保全を行っていかなく、施業着手が困難な状況にある森林が散見されるため、施業に必要な作業路網の整備を推進していく必要があります。また、市内では野生動物が頻発に出没し集落に悪影響を与えているため、水源涵養機能の向上とともに野生動物の出没を抑制する狙いから、集落周辺の荒廃した森林を整備する必要があります。				
目的 (何をどうしたいのか)	森林の荒廃を防ぎ森林の持つ公益的機能が発揮できるよう、作業路の整備など、継続的な森林整備を進めます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	民有林				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業路網の整備を行います。</li> <li>協約締結地の森林整備(間伐・枝打)を行います。</li> <li>集落周辺(大山地区・比々多地区)の森林整備(間伐・枝打・除伐等)を行います。</li> </ul>				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	作業路の整備	工事	工事		
	協約締結地の森林整備	間伐・枝打	間伐・枝打		
	集落周辺の森林整備	間伐・枝打・除伐・つる切り	間伐・枝打・除伐・つる切り		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			令和3年度	令和4年度	
	作業路の整備延長	L=980m (令和2年度)	L=700m	L=550m	



事業実施 (Do)

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	・森林の持つ公益的機能が発揮できるよう、引き続き森林組合と事業執行の調整を図り、作業路の整備、森林の整備を計画的に進めます。		
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	○ すべて直接実施                      ● 左記以外		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b> 伊勢原市森林組合
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b> 伊勢原市森林組合
	<input type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>	
		<b>令和3年度</b>	<b>令和4年度</b>
	作業路の整備	工事	工事
	協約締結地の森林整備	間伐・枝打	間伐・枝打
	集落周辺の森林整備	間伐・枝打・除伐・丸太筋工	間伐・枝打・除伐・つる切り
<b>実施した取組の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業路L=820mの整備を実施しました。</li> <li>・協約締結地A=15haの森林整備を実施しました。</li> <li>・集落周辺A4.47haの森林整備を実施しました。</li> </ul>		
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状値】</b>	<b>年度</b>
			<b>令和3年度</b>
	作業路の整備延長	L=980m (令和2年度)	L=770m
		<b>令和4年度</b>	
		L=820m	

	年度		令和3年度 実績				令和4年度 実績				
内訳	<b>事業費合計 (a)</b>		19,160	千円	19,658	千円					
	内訳	国県支出金 ①		15,705	千円	16,241	千円				
		地方債 ②		0	千円	0	千円				
		その他特財 ③		0	千円	0	千円				
		一般財源 (a)-①-②-③		3,455	千円	3,417	千円				
<b>国県支出金の内容</b>		神奈川県協力協約推進事業補助金 補助率90%(作業路) 補助率80%(森林整備) 神奈川県水源環境保全・再生市町村補助金 補助率100%									
コスト	その他特財の内容	受益者負担	○ 有      ● 無		前回の改定時期						
		その他									
人件費	正規職員		0.37	人	3,027	千円	0.56	人	4,799	千円	
	その他の職員		0.37	人	1,125	千円	0.37	人	1,228	千円	
	<b>人件費合計 (b)</b>		<b>0.74</b>	<b>人</b>	<b>4,152</b>	<b>千円</b>	<b>0.93</b>	<b>人</b>	<b>6,027</b>	<b>千円</b>	
<b>トータルコスト (a)+(b)</b>				<b>23,312</b>	<b>千円</b>			<b>25,685</b>	<b>千円</b>		
単位当たりコスト	対象数	定義	市民				単位	市民			
		対象数	101,381		人	101,119		人			
	総事業費 / 対象数	230		円	254		円				

**評 価 (Check)**

<p align="center"><b>進捗状況</b> 〔選択・記入〕</p>	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	<p align="center"><b>A</b></p>	<p align="center"><b>左 記 判 断 理 由</b></p>	<p>・作業路の整備計画延長L=550mに対し、L=820mの整備を行いました。また、作業路を活用した協力協約締結地の森林整備や、集落周辺の森林整備を効率的に行うことができました。</p>
<p align="center"><b>実施水準</b> 〔選択・記入〕</p>	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	<p align="center"><b>B</b></p>	<p align="center"><b>他 都 市 の 事 業 内 容 等</b></p>	<p>・神奈川県の標準単価を使用していることから、他市と同水準での事業実施が行えています。</p>
<p align="center"><b>有効性</b> 〔選択・記入〕</p>	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	<p align="center"><b>A</b></p>	<p align="center"><b>左 記 判 断 理 由</b></p>	<p>・作業路の整備により、林業機械の導入が可能となり、林業作業の効率化、生産性の向上につながる等、有効な森林整備を行うことができました。また、集落周辺の森林整備を行ったことで、有害鳥獣の出没抑制の効果が期待されます。</p>
<p align="center"><b>効率性</b> 〔選択・記入〕</p>	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	<p align="center"><b>A</b></p>	<p align="center"><b>左 記 判 断 理 由</b></p>	<p>・森林施業に従事している森林組合に本事業を委託することで、効率的に実施することができました。</p>



取組内容の改善 (Action) へ

**取組内容の改善 (Action)**

<p align="center"><b>所管部長による総評</b></p>	<p>森林の持つ多面的機能(土砂災害の防止・水源涵養など)を発揮させるためには、適切な森林施業を継続的に実施する必要があります。このため、作業路の整備や森林整備は必須であり、今後も計画的に推進していく必要があります。</p>
--	--